

2023年5月28日

関西学生テニス連盟
幹事長 小林恵梨子

春関日程延期にかかる経緯・顛末及び再発防止策について

2023年度の関西学生春季テニストーナメントにおいて、学連の手続きの不手際により、コートの手配が適切に行われず、予定通りの日程での開催ができない状況となりました。選手・関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしましたことを、幹事長である私から、心よりお詫び申し上げます。また、このような事態を招いた経緯の詳細を説明させていただくと共に、今後、学連として二度と同じことが起きない為の再発防止対策についても報告させていただきます。

記

1. 経緯の詳細

2022年11月中旬
・ITC 靱テニスセンターに、コート予約の申込書を提出
2022年11月下旬、12月上旬
・靱テニスセンターのコート状況の都合により、当初予定していた大会初日を、5月28日から5月29日に変更してほしいとの連絡が、靱テニスセンターと関西テニス協会よりあった。→その連絡に対しては学連から承諾の旨を返信し、コート予約の変更手続きも完了した。
2023年5月中旬
・大会前の最終打ち合わせにて、日程確認はしたものの、会場側と学連側とで日程変更に関して改めて確認することなく、大会初日の日付の認識に齟齬がある状態で打ち合わせを終えた。
2023年5月27日17時頃
・学連が、大会前日準備の荷物搬入の際に、靱テニスセンターから1日ずれていると指摘され、誤りに気づく。

以上の経緯から振り返り、今回の事態は、幹部内での情報共有不足と日程確認の徹底が不足していたことが原因で発生しました。

2. 再発防止策について

今後の学連の対策として、会場申し込みの書面やメールは、担当者だけでなく複数の幹事で共有します。また、会場との連携において認識の齟齬をなくすよう、複数の幹事にて対応します。更に、大会前の打ち合わせにも副担当を交える事や、学連内で定期的なミーティングを行うことでスケジュール確認と共有を徹底致します。

再度、関西学生テニス連盟一同、心からお詫び申し上げます。引き続き、関係者の皆様のご理解とご協力を賜りつつ、大会運営等に尽力する所存です。

以上